本学との学術交流協定締結校の紹介

クライストチャーチ・ポリテクニック工科大学（ニュージーランド）

（Christchurch Polytechnic Institute of Technology）

交流協定締結年月日：2002年1月23日　主管学部：教育学部

クライストチャーチはニュージーランド南島の東海岸の中央あたり、バンクス半島の北に位置している。南島最大の町クライストチャーチは、劇場、アートギャラリー、ショッピング、フェスティバルなど都会の楽しみが詰まった賑やかな国際・観光都市としても魅力に溢れている。クライストチャーチ中心の広場には、ゴシック様式建築クライストチャーチ大聖堂がある。

大聖堂

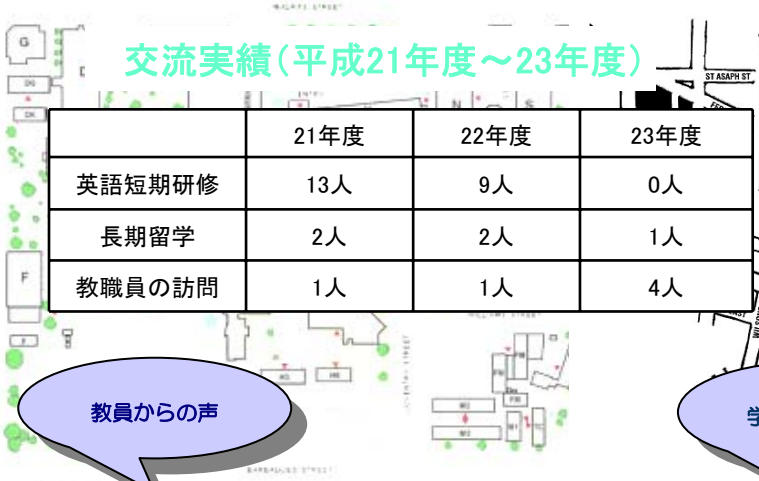
国際交流の特色（大学紹介）

1906年開学。英語だけではなく、専門のコースの授業を受けられる（観光業務、障害児教育）他に140のコースがある大学である。質の高い4週間の英語短期研修・ホームステイプログラム（毎年3月と8月）を実施している。平成12年度以降香大生や教職員180人以上が訪問した。平成19年1月23日付で交流協定の更新と、今までの交流をさらに発展させるための細則の締結を行った。

学術国際交流協定細則協定書の調印

交流実績（平成21年度～23年度）

	21年度	22年度	23年度
英語短期研修	13人	9人	0人
長期留学	2人	2人	1人
教職員の訪問	1人	1人	4人



教員からの声

クライストチャーチは高松とほぼ同じくらいの人口と大きさで、観光地としても有名です。CPITと協定を結んで7年目になります。お互いに信頼でき、とても活発的な協定になっていると思います。平成16年度には10人の香大生が一年間ISEL(国際英語学科)で勉強しました。同年の2月にはCPITの障害児専門家の先生を香川大学に招き、附属養護学校で開催された会議で講演してもらいました。8月の短期研修では、学生が現地の小中高等学校の授業に行き、日本語の簡単な紹介、折り紙、漢字等をティームティーチング等で（英語で）教えました。

3日間のファームステイが学生の間で大変人気です。短期・長期留学それぞれ良いところがあります。海外留学を考えている学生に是非お勧めしたいところです。

Paul G. Batten

学生からの声

『What a great experience！』

学校はNZ一と評判のCPITの英語学校に行きました。午前中の授業に加えて、午後からは校外へ出てのボランティア活動や英語教育者育成コースなどの選択科目がありました。特にボランティアはたった一人で現地の幼稚園やコミュニティーセンターで2ヶ月以上働くため、英語の勉強にサバイバル精神で励むことができました。授業は学生と教員が共に作るという感じが強く、週末に担任宅でバーベキューをするなど、全体的にいい人間関係を築ける雰囲気があります。放課後は学生に大人気の先生が毎日企画するスクールアクティビティに参加するもよし、友達と街のカフェにくりだすもよし、学校が終わってからこそが本当の英語使用の時間でした。学校での勉強が終了すれば一人旅へGO！ヒッチハイクでニュージーランド中をめぐり、すばらしい人々と驚くべき大自然との出会いを存分に味わいました。みなさん是非NZに行って大きくなって帰ってきてください！

浦野佳太　2003－2004

クライストチャーチ・ポリテクニック工科大学
(Christchurch Polytechnic Institute of Technology)
ホームページ　http://www.cpit.ac.nz/

●学部学生　35,000 人　●教職員　2,000 人
●大学院生　1,200 人　●留学生　1,500 人